

(株)三菱総合研究所 食品廃棄削減の取組み



急速冷凍した食品の自動販売機での販売



- ▶ 東京都が公募した2021年度事業により、(株)三菱総合研究所とデイブレイク(株)の協同事業「急速冷凍食品の自動販売機での販売実証」が採択された。
- ▶ 飲食店(寿司店)で使い切れない食材を使った商品を急速冷凍にて凍結し、駅改札近くに設置した自動販売機にて消費者に販売した。
- ▶ 急速冷凍を行うことにより、食品を高い品質にて美味しさを保ったまま冷凍することができる。また、保存期限を延長させることができ、食品ロス対策として有効である。
- ▶ 日本では、共働き世帯の増加やコロナ禍の影響により、冷凍食品の需要が増加している。また、飲食店が売上増加のために自動販売機にて食品を販売する取組みもいくつか見られている。

＜自動販売機での販売の様子＞



